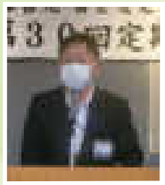
令和５年８月５日発行（毎月6回1、5、11、15、21、25日の発行）ＯＴＫ通巻第5713号　昭和51年9月7日　第三種郵便物認可

第30回　定期総会、交流会開催

大阪支部長

御来賓挨拶

大阪府



大阪市

堺　市

近畿ブロック長

第30回定期総会

6月10日、早川福祉会館（大阪市東住吉区）におきまして、令和5年度大阪府重症心身障害児・者を支える会、全国重症心身障害児（者）を守る会大阪支部の第30回定期総会を開催いたしました。

支える会・会長の開会の挨拶に続き、大阪府、大阪市、堺市、全国重症心身障害児（者）を守る会よりご挨拶とご祝辞をいただきました。

令和４年度の活動をビデオ上映した後、議事に入りました。令和４年度事業報告、会計報告、会計監査報告に続き、令和５年度事業計画、収支予算の審議、承認と滞りなく終了いたしました。

OTK
支える
No.119
大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児（者）を守る会
大阪支部

守る会３原則

★決して争ってはいけない　争いの中に弱いものの生きる場はない
★親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超えること
★最も弱いものを一人ももれ無く守る

支える会ホームページのご案内

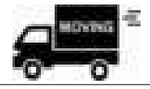
ドメイン名　http://www.sasaeru.or.jp/
メールアドレス　osaka@sasaeru.or.jp

◎様々な御意見・御質問や情報をメールやＦＡＸにお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり！

「支える会」事務局

〒５４５－００２１
大阪市阿倍野区阪南町５－１５－２８
育徳コミュニティーセンター２階
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長　長谷川　幸子
ＴＥＬ　０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ　０６－６６２４－２５５６
＜郵便振替＞　００９３０－９－６９５９８



お願い：会員登録の住所・電話番号等に変更がありましたら事務局までお知らせください。

令和５年８月５日発行（毎月6回1、5、11、15、21、25日の発行）ＯＴＫ通巻第5713号　昭和51年9月7日　第三種郵便物認可

施設見学会（WEBビデオ配信）のご案内

ぽぷら グループホームPOP×2

◎申込みは支える会メールへ　osaka@sasaeru.or.jp

令和５年１月２０日（金）、大阪府泉南郡にあります重度の障がい者を対象としたグループホーム施設ＰＯＰ×２（ぽぷら）へ見学に行きました。

＊関連記事（2面・3面）

コロナ感染症対策の為、事務局が記録した映像を**8月２０日（日）**まで期間限定配信いたします。

視聴をご希望される方は、上記の支える会メールアドレスへ次の項目を記載して申し込みください。

◎様式は問いません。
項目：「（件名）ぽぷら見学会ビデオ配信申込書」
「氏名、ふりがな」「電話番号」
「お住まい または 職場の地域」
「職業・所属先、またはご関係（家族）など」

※申込メールのご注意
パソコンからのメールが受信できるアドレスでお申し込み下さい 。
申し込みメールはパソコンメール や gmail などを推奨。
キャリアメールの方は（ドコモ・au・ソフトバンク等）、申込者の設定により開催者からのメールが受信できない、迷惑メールに振り分けられる場合があります。

編集後記

全国守る会の北浦雅子会長が去る令和５年２月16日に逝去されました。

北浦会長を偲び感謝を捧げるため、６月25日、東京の全社協・灘尾ホールで『北浦雅子会長お別れの会』がありました。

長きにわたり重症心身障害児者の医療、福祉、教育の充実・向上にご尽力されました。「最も弱いものをひとりももれなく守る」の理念を引き継ぎ、活動を進めていきたいと思います。

今後ともご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。（Ｈ・Ｓ）

編集・責任者
（事務局）〒５４５－００２１
大阪市阿倍野区阪南町５－１５－２８
育徳コミュニティーセンター２Ｆ
ＴＥＬ０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ０６－６６２４－２５５６
長谷川　幸子
郵便振替口座００９３０－９－６９５９８
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所　大阪身体障害者団体定期刊行物協会
〒５７３－００１７
大阪府枚方市印田町14－17　下野　浩方
定価　50円
（会員の方は会費の中に含まれています）

アンケートの一部をご紹介いたします。有難うございました。

● グループホームＰＯＰ×２の上映があると聞き参加しました。
居室に荷物の入るロフトの設置とシンクの設置は良いですね。
小さな洗面台はあるのですが、胃ろうの方や吸引の必要な方など、
小さなシンクがあるだけで、備品の洗浄が直ぐに対応できます。
浴室やトイレのリフターを活用しての動きについても無駄がなく、
ぜひとも見学に行きたいと思いました。
交流会でのお母さま方のお話は、相談員として、担当のご家族の顔が見えるように色々思うことがありました。自宅内にヘルパーが入る事を頑なに拒否されるご家族もあり、最後に発言をされた、入浴と夕食を食べて午後９時頃に自宅に戻るシステムのお話、そのような支援体制があれば利用したいと言われる家族が私の関係者でも手をあげそうだなと思いました。
後見人の事については、財産管理もですが、身上監護の事も含めて、今まさに悩まれているご家族がいますので、法人後見や市民後見がもっと利用しやすいものになっていけばと思います。
（計画相談員

● 家族の方が日ごろ悩んでおられるところ等をお聞きできて、大変勉強になりました。成年後見人制度について、どのようなハードルがあるか考えてみたいと思いました。（行政関係者

● 久しぶりの交流会で、対面で生の声が聞けてとても良かったです。在宅、入所施設とそれぞれの悩み心配事、聞きたい事などがよくわかりました。オンラインの方々もスムーズにできて心が通い合う時間でした。楽しい時間でした。（親・家族

● ポプラ、グループホームで胃ろうの方が入っているのに感心しました。（ロフト、シンク）は良いですね。参加者が少ないと思いました。（親・家族

● 久しぶりの参加でとても新鮮な感じでした。家族の高齢化に伴う、様々な課題について、もっと広くアナウンスを展開して、地域を巻き込んでサポートの体制を整える事が大事だと思いました。とりわけ、学校等との連携の状況について気になりました。（市会議員

● 大変良かったです。在宅の方の話し、施設入所の話し。ためになりました。（親・家族

● いつも来賓のご出席をいただき素晴らしい総会が挙行されることに敬意を表します。グループホーム ＰＯＰ×２ポプラのビデオ、小原さんのおはなし、有難うございます。今後、重心者のグループホームが各地域にできることを願っています。（支援者

● 親亡き後の不安、障害のある子の家族にとって色々考える。第３者後見人に子供を託すと制度や内容のこと。これから先、色々と知りたいことがある。生活、健康、面会、身体の世話等など多くの問題がある。日常的な事、身上監護の支援を後見人がどこまで、どのようにやってもらえるのか、不安です。（親・家族

● 第３０回の総会開催おめでとうございます。いつも機関誌やセミナー参加などで勉強させていただいています。活動方針にもあげられていました医療的ケア児支援センターが４月に開設されたということで、その事業の内容や、重症心身障害児・者の支援に及ぼす影響への評価など勉強する機会があればありがたいです。今後とも宜しくお願いいたします。（施設職員

● 入れるグループホームがあれば知りたいと思います。（親・家族

総会記念交流会

総会の後、記念交流会を開催しました。昨年度の施設見学の動画上映に続き、昨年度実施した会員アンケートの集計結果を報告し、意見交換、情報交換を行いました。

令和５年１月、大阪府泉南郡にありますグループホームＰＯＰ×２（ぽぷら）へ施設見学に行きました。医療的ケアが必要な重症心身障害の方々が生活をされています。ロフトがある居室は開放感があり、移乗には床走行のリフトを使用されていました。入浴はミスト浴で身体がよく温まるとのことです。それぞれの利用者の生活リズムを重視されており、休日はショッピングやクッキングを楽しんでおられるそうです。
今回は初めての試みで、少人数で現地へ見学に伺い、同時にＷｅｂ見学も並行して行いました。撮影させていただいた見学の様子をまとめ、交流会で動画上映を行いました。今回の動画は会員向けに期間限定で配信をします。（関連記事：最終頁）

交流会では、令和４年１１月に実施しました会員アンケートの結果から多くいただいたご意見について意見交換、情報交換を行いました。
多かったご意見は、日々の疲れがとれない、入院付き添いをする体力がなくなってきた、また各種の手続きに負担を感じるようになってきたといった親の高齢化による困りごとでした。また成年後見制度の手続きや、親亡き後の第三者後見への不安に関するご意見も多くありました。施設入所のご家族からは後見手続きの経験談をお話いただきました。
また障害当事者の高齢化による二次障害についても多くの方が直面していました。
さらに福祉や医療の資源に関して、人材不足、入所やショートステイの施設不足の現状に困っているかたも多くありました。
施設入所の方は、コロナ禍で面会が大きく制限されたことで不安な日々が続いたとのことでした。
会員アンケート、交流会でのご意見を元に要望書を作成する予定です。
今回、会員交流の試みとして、当事者のご家族限定で支える会のグループＬＩＮＥを始めました。令和５年の１２月まで試行します。参加のご希望は事務局までお問い合わせください。

令和４年度事業報告

2022

本年度も新型コロナ感染症により様々な制約を受ける中での活動となりました。そのような状況下で、日々重症心身障害児・者を感染から守り支援を継続してくださっている医療・福祉・教育等の関係者の皆さまに感謝を申し上げます。

以下の通り、本年度の活動の報告をいたします。運営委員会、講演会、クリスマス会とインターネットを併用しての活動にも慣れてきました。

今後も外出が困難な状況にある会員の方々とのコミュニケーション手段として活用していきます。またインターネットを利用していない方々に向けても会報等で情報発信を続けます。

1．会員の拡大のための事業
＊ホームページの運営
＊パンフレットの配布、会員にむけた勉強会等を開催
＊支える会会員アンケート実施

2．講演会・研修会
＊記念講演会（定期総会）
『医療的ケアが必要な方の在宅生活を支えるために』
～ショートステイ事業等の取組みを通して～
大阪発達総合療育センター　フェニックス園長　竹本　潔 氏
［於：早川福祉会館　４Ｆ（ホール）］
２０２２年４年６月11日
＊医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム
ステージⅦ（協力）
※実行委員会形式による開催

・基調講演
『医療的ケア児と家族を支えるサービスの実践』
～医療的ケアが必要な子どもと家族が安心して心地よく暮らすために～
講師：島津　智之 氏
（認定ＮＰＯ法人　ＮＥＸＴＥＰ理事長）
・講　演
『大阪府地域ケアシステム整備事業の展開』
『地域での暮らしへの道筋』
『新しい生活様式に対応したシステム（ＩＣＴ基盤）の構築のために』
・意見交換
『生活に医療が必要な方が自分らしく暮らし続けるために』
～感染症による「新生活様式」の中で生き抜く～
［於：グランフロント大阪　タワーＣ：北館８階］
２０２２年９月17日
＊支える会セミナー
『重症心身障害児者の暮らしを支える医療』
～重症児者と家族に寄り添って～
大阪発達総合療育センター・センター長
船戸　正久 氏
［於：早川福祉会館　４Ｆ（ホール）］
２０２２年11月５日

3．会員相互による勉強会等
＊施設見学　ＷＥＢ併用
「グループホーム ＰＯＰ×２（ぽぷら）」
ＮＰＯ法人大阪府重症心身障害児者を支える会
［大阪府泉南郡］　２０２３年１月20日

4．交流事業
＊会場・オンライン　ハイブリッドクリスマス会
［於：早川福祉会館　４Ｆ（ホール）］
２０２２年12月10日

5．啓発事業
＊オンライン リモートワークアプリ マイクロソフトチームズ運用
＊大阪府医療的ケアを要する重症心身障がい児者等支援部会　参加
＊大阪市医療的ケアが必要な児童等の支援に関する検討会議　参加
＊医療的ケア児等コーディネーター養成研修
大阪府・大阪市（講師派遣）
＊ＯＤＦ、ＳＤＦ協力
＊ショートステイ連絡協議会公開講座
後援名義・周知協力
＊「重症児者の拠点作りの会」（北摂）協力
＊「大阪きょうだいの会」例会周知協力
＊大阪府　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組みについての情報周知
＊大阪市障がい者等基礎調査　周知協力
＊医療的ケアワーキング グループ設置（在宅部会）と全国医療的ケアライン　連携
＊「大阪医療的ケア児・者支援ネットワーク ＷＡ！わっしょい」情報交換

6．機関紙の発刊
＊機関紙「支える」を年間計４回発行

月別活動報告

２０２２年４月
＊運営委員会　（８日）

５月
＊機関紙「支える」１１５号発行　（５日）
＊全国医療的ケアライン　大阪府「ＷＡ！わっしょい」代表者と顔合わせ　（12日）
＊運営委員会　（13日）

次のページへ続く

前のページの続き

６月
＊運営委員会　（３日）
＊正・副会長会議　（３日）
＊第29回定期総会・記念講演会　（11日）

７月
＊運営委員会　（８日）
＊会組織に関する検討会

８月
＊機関紙「支える」１１６号発行　（５日）
＊運営委員会　※中止
＊地域における当事者活動等の実態調査について　回答協力　［吹田市］

９月
＊運営委員会　（９日）
＊正・副会長会議　（９日）
＊医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム ステージⅦ　協力　（17日）

10月
＊機関紙「支える」１１７号発行　（９日）
＊大阪府医療的ケアを要する重症心身障がい児者等支援部会　出席　（12日）
＊運営委員会　（14日）
＊大阪府福祉部障がい福祉室　意見照会
地域における障がい者等の支援体制に関して回答を送信　（31日）

11月
＊「支える会セミナー」開催　（５日）
［早川福祉会館４Ｆ］
＊支える会会員アンケート実施　（14日）
＊大阪市医療的ケア児等コーディネーター養成研修　講師派遣　（６日）
＊運営委員会　（11日）
＊ショートステイ連絡協議会公開講座
後援　（26日）

12月
＊塩野義製薬来訪　コミュニケーションツールに関して　意見交換　（５日）
＊運営委員会　（９日）
＊正・副会長会議　（９日）
＊会場・オンライン　ハイブリッド
クリスマス会　（10日）　［早川福祉会館４Ｆ］
＊大阪市障がい者等基礎調査
周知協力　（1～20日）

２０２３年１月
＊運営委員会　（13日）
＊会組織に関する検討会
＊大阪府医療的ケア児等コーディネーター養成研修　講師派遣（19日）
＊「グループホーム ＰＯＰ×２（ぽぷら）」施設見学　ＷＥＢ併用（20日）　［大阪府泉南郡］
＊長居障がい者スポーツセンター立替えについて
パブリックコメント提出

２月
＊大阪市医療的ケアが必要な児童等の支援に関する検討会議　出席　（10日）
＊運営委員会　（17日）
＊機関紙「支える」１１８号発行　（17日）
＊ＮＨＫ放送局バリバラ　コロナ禍の暮らしの声企画　当事者メッセージを提出

３月
＊運営委員会　（10日）
＊大阪府医療的ケアを要する重症心身障がい児者等支援部会　出席　（29日）

守る会関係

近畿ブロック役員会
２０２２年４月２日　京都市
２０２２年７月２日　京都市
２０２２年10月１日　京都市
２０２２年12月３日　京都市
２０２３年２月25日　京都市

近畿ブロック専門部会議
２０２２年10月13日
在宅部会　ｚｏｏｍ（ズーム）オンライン
２０２２年10月29日　京都市

近畿ブロック研修会
２０２２年11月26日　※中止　福井県

支部長会議
２０２２年６月25日　Ｗｅｂ出席
２０２２年10月　［書面決議］
２０２３年３月25日　「守る会」本部

ブロック専門部会長会議
２０２２年11月19日　「守る会」本部

新任支部長等研修
２０２２年７月30日　「守る会」本部

運動推進委員会
２０２２年４月23日　「守る会」本部
２０２２年６月24日　「守る会」本部
２０２２年９月22日　大会会場
２０２２年11月19日　「守る会」本部
２０２３年１月28日　「守る会」本部
２０２３年３月24日　「守る会」本部

全国大会　［北海道札幌市］
２０２２年９月23日・24日）　※中止

内閣府等関係機関へ令和４年度の要望書を提出　２０２２年11月４日

「両親の集い　Ｗｅｂ版」動画配信
２０２２年12月～２０２３年２月末日まで

令和５年度事業計画

2023

基本方針

重度の障害を持っていても１人の人間としての人格と個性を持っていることを認識し、重症心身障害児・者が、当たり前の人として、当たり前の生活を続けられることを支えていく。

活動方針

新型コロナ感染症が令和５年５月から５類の感染症となります。

重症化リスクの高い重症心身障害児・者にとってはまだまだ不安を抱えての生活が続きそうです。

重い障害を持ち困難さを抱える方々の生活がより充実したものになるように取り組んでいきます。また災害時における緊急避難等、混乱の中においても取り残されることなく安全を確保していけるよう、行政をはじめ様々な分野の方々と連携を深めていきます。

大阪府では令和５年４月に「大阪府医療的ケア児支援センター」が開設されました。センターを中心に医療的ケアの必要な重症心身障害児の支援が充実していくことを期待しています。また『児』だけではなく『者』の支援の充実も各関係機関に向けて発信していきます。

今年度も引き続きインターネットも活用し会員相互のコミュニケーション、情報提供にも努めていきます。

事業計画

1．会員拡大のための事業

＊ホームページの充実

（再構築、協力団体との連携等）

＊パンフレットの配布、会員にむけた勉強会の開催

2．講演会・研修会

＊医療と福祉の連携強化のためのシンポジウムⅧ

２０２３年９月（未定）　会場：未定　講師：未定

＊支える会セミナー

２０２３年10月（未定）　会場：未定　講師：未定

3．会員相互による勉強会等

＊施設見学　２０２３年８月　場所：未定

4．交流事業

＊クリスマス会

２０２３年12月（未定）　会場：未定

5．啓発事業

＊大阪府及び各市町村との懇談等

＊大阪府医療的ケアを要する重症心身障がい児者等支援部会への参加

＊大阪市医療的ケアが必要な児童等の支援に関する検討会議への参加

＊医療的ケア児等コーディネーター養成研修　協力

＊ＯＤＦ・ＳＤＦ参加

＊ショートステイ連絡協議会への参加

＊「重症児者の拠点作りの会」（北摂）協力

＊医療的ケアワーキング グループ設置（在宅部会）と全国医療的ケアライン　連携

＊「大阪きょうだいの会」例会周知協力

＊オンライン リモートワークアプリ

マイクロソフトチームズ運用

6．広報活動事業

＊機関紙「支える」の発刊（年４回予定）

＊ホームページの運営

月別活動計画

２０２３年４月

＊運営委員会（14日）

５月

＊運営委員会（12日）

６月

＊運営委員会（２日）

＊第30回定期総会・記念交流会（10日）

７月

＊運営委員会

＊会組織に関する検討会

＊機関紙「支える」発行

８月

＊運営委員会

＊施設見学

９月

＊運営委員会

＊医療と福祉の連携強化のための

シンポジウムⅧ

＊機関紙「支える」発行

10月

＊運営委員会

＊支える会セミナー

11月

＊運営委員会

＊機関紙「支える」発行

12月

＊運営委員会

＊クリスマス会

２０２４年１月

＊運営委員会

＊会組織に関する検討会

次のページへ続く

2022年度　収支決算報告書

自2022.4.1至2023.3.31

収入の部 科目	金額	摘要	支出の部 科目	金額	摘要
41会費収入	1,159,200		31事務費支出	475,584	
01正会員会費収入	1,066,200		01職員俸給	0	
02協力会員会費収入	93,000		02職員諸手当	0	
42寄付金収入	26,490		03賃金	0	
01寄付金収入	26,490		04法定福利費	0	
43事業収入	13,500		05旅費	0	
01バザー収入	0		06消耗品費	23,575	事務用品
02その他の事業収入	13,500		07器具什器費	0	
44補助金収入	0		08印刷製本費	13,014	
01地方公共団体補助金収入	0		09賃借料	360,000	事務所使用料等
02公益事業補助金収入			10会議費	1,040	
45本部助成金収入	72,200		11修繕費	0	
01本部助成金収入	72,200		12通信運搬費	51,185	郵送、電話料金等
46雑収入	8		13手数料	26,770	銀行、郵便振替分等
01雑収入	8	利息収入	14雑費		
47設備資金借入金収入	0				
01設備資金借入金収入	0		32事業費支出	181,325	
48引当金戻入	0		01研修会開催費	0	
01修繕引当金戻入	0		02レクリェーション活動費	24,309	
02備品等購入引当金戻入	0		03分会活動費	0	
03人件費引当金戻入	0		04調査啓発事業費	47,500	両親の集い等
49積立金戻入	0		05機関紙出版費	109,516	機関誌印刷費、発送費用等
01建設積立金戻入	0		06その他の事業費	0	
02その他の積立金戻入	0				
			33本部会費	449,600	
			01本部会費	449,600	
			34近畿ブロック会費	26,500	
			01近畿ブロック会費	26,500	
			35雑支出	19,720	
			01慶弔費	9,720	
			02雑支出	10,000	
			36積立金繰入	0	
			01建設積立金繰入	0	
			02その他の積立金繰入	0	
			37引当金繰入	0	
			01修繕引当金繰入	0	
			02備品等購入引当金繰入	0	
			03人件費引当金繰入	0	
当期収入額計	1,271,398		当期支出額計	1,152,729	
前期繰越金	246,021		当期繰越金	364,690	
収入合計	1,517,419		支出合計	1,517,419	

「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会（全国重症心身障害児（者）を守る会の大阪支部）への入会についてご案内いたします。

【個人会員】　**◎年会費 10,200円**
本部会員 及び 大阪支部会員
◎年会費　3,600円
大阪支部会員

【法人・団体会員】　**◎年会費 10,000円**（１口）
本部会員 及び 大阪支部会員

【協力会員】　**◎年会費　3,000円**（１口）
大阪支部会員（運営資金の協力会員）

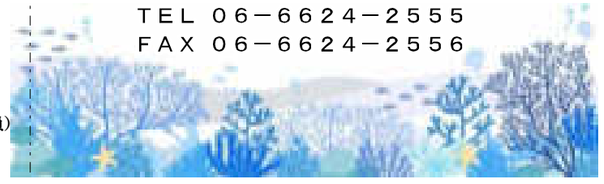
☆申込み・問い合わせは事務局までお願いします

会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

＜郵便振替＞
００９３０－９－６９５９８
大阪府重症心身障害児・者を支える会

＜問い合わせ＞
ＴＥＬ　０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ　０６－６６２４－２５５６



第60回 重症心身障害児(者)を守る全国大会
広島市にて開催

【大会概要】

1，と　　き
令和５年９月９日(土)～１０日(日)

2，と こ ろ
リーガロイヤルホテル広島　T.(082)502-1121
〒730-0011　　広島市中区基町６－７８

3，主　　催
全国重症心身障害児（者）を守る会
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会
広島県重症心身障害児（者）を守る会

4，大会次第
［第１日目］　９月９日（土）
受　　付　　１２：００～１３：００

行政説明　　１３：００～１４：００
（こども家庭庁支援局　障害児支援課長）

分 科 会　　１４：２０～１７：００
《第１分科会》　国立施設部会
「これからの入所支援の在り方」

《第２分科会》　重症児施設部会
「重症児者の入所支援の在り方」
～ 年齢・状態に応じた適切な
日中活動の提供について ～

《第３分科会》　在宅部会
「輝け！ 命いっぱい」
～ これからの在宅支援 ～

《第４分科会》　母親部会
「母親の願いは活動の原動力」

懇 親 会　　１８：００～２０：００

［第２日目］　９月１０日（日）
受　　付　　８：３０～

基調講演　　９：００～１０：００
『生きるとは何か』
『人生の幸せとは何か』
― ヒサ坊に生きた北浦雅子の生涯 ―

式　　典　　１０：３０～１２：００

●申し込み先：「支える会」事務局

●問い合わせ先：
社会福祉法人
全国重症心身障害児(者)を守る会　事務局
TEL(03)3413-6781　　FAX(03)3413-6919

全国重症心身障害児(者)を守る会
近畿ブロック専門部会議開催(予定)

日　時：**令和５年１１月４日（土）　13：00～16：00**
場　所：**ホテルビナリオ嵯峨嵐山**
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町３番地４（T．075－871－9711）
内　容：４専門部会に分かれてテーマを討議、最後に全体会で部会長がまとめ報告他

・重症児施設部会　　**・在宅部会（zoom会議で事前討議）**
・国立施設部会　　**・母親部会**

◎ 参加費：　無　料
◎ 参加希望の方は、事務局までお問い合せ下さい。
大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局
TEL：０６－６６２４－２５５５

前のページの続き

２月
＊運営委員会
３月
＊運営委員会
＊機関紙「支える」発行

守る会関係
近畿ブロック役員会
２０２３年４月１日　［京都市］
２０２３年７月１日　［京都市］
２０２３年10月７日　［京都市］
２０２３年12月16日　［京都市］
２０２４年２月24日　［京都市］

全国大会
２０２３年年９月９日・10日　［広島県・広島市］

近畿ブロック専門部会会議
２０２３年11月４日　［京都市］

近畿ブロック研修会
２０２３年11月25日　［福井県・福井市］

支部長会議
２０２３年６月24日　「守る会」本部
２０２４年３月30日　「守る会」本部

運動推進委員会
２０２３年４月29日　「守る会」本部
２０２３年６月９日　「守る会」本部
２０２３年９月８日　［大会会場］
２０２３年12月２日　「守る会」本部
２０２４年１月27日　「守る会」本部
２０２４年３月16日　「守る会」本部

ブロック専門部会長会議
２０２３年12月２日　「守る会」本部

新任支部長等研修
２０２３年７月29日　「守る会」本部

ホームページ　リニューアル
２０２３年４月

北浦雅子会長　お別れの会
２０２３年６月25日　「守る会」本部

2023年度　収支予算書

収入の部 科目	金額	支出の部 科目	金額
41会　費　収　入	1,180,000	31事　務　費　支　出	550,000
01正会員会費収入	1,080,000	01職員俸給	0
02協力会員会費収入	100,000	02職員諸手当	
42寄付金収入	200,000	03賃　　金	0
01寄付金収入	200,000	04法定福利費	
43事　業　収　入	150,000	05旅　　費	20,000
01バザー収入	0	06消 耗 品 費	30,000
02その他の事業収入	150,000	07器具什器費	
44補助金収入	0	08印刷製本費	20,000
01地方公共団体補助金収入	0	09賃　借　料	360,000
02公益事業補助金収入	0	10会　議　費	25,000
45本部助成金収入	0	11修　繕　費	
01本部助成金収入	0	12通信運搬費	60,000
46雑　　収　　入	0	13手　数　料	30,000
01雑　　収　　入	0	14雑　　費	5,000
47設備資金借入金収入	0		
01設備資金借入金収入	0	32事　業　費　支　出	430,000
48引当金戻入	0	01研修会開催費	100,000
01修繕引当金戻入		02レクリェーション活動費	100,000
02備品等購入引当金戻入	0	03分会活動費	30,000
03人件費引当金戻入	0	04調査啓発事業費	50,000
49積立金戻入	0	05機関紙出版費	100,000
01建設積立金戻入	0	06その他の事業費	50,000
02その他の積立金戻入	0		
		33本部会費	460,000
		01本部会費	460,000
		34近畿ブロック会費	30,000
		01近畿ブロック会費	30,000
		35雑　支　出	25,000
		01慶　弔　費	10,000
		02雑　支　出	15,000
		36積立金繰入	
		01建設積立金繰入	0
		02その他の積立金繰入	0
		37引当金繰入	0
		01修繕引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金繰入	0
当　期　収　入　額　計	1,530,000	当　期　支　出　額　計	1,495,000
前期繰越金	364,690	当期繰越金	399,690
収　入　合　計	1,894,690	支　出　合　計	1,894,690

「 医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム ステージ Ⅷ 」

情報提供

■日　時　**2023年9月10日(日)**
10：00～16：30（9：00～受 付）

■会　場　**グランフロント大阪〈予定〉**（大阪市北区大深町３－１）

■主　催　医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム実行委員会

■後　援（予　定）　大阪府、大阪市、大阪府医師会、大阪府肢体不自由児者父母の会連合会、大阪府重症心身障害児・者を支える会

■協　力　一般社団法人　大阪薬業クラブ

■参加費　無 料　（定員： 会場 １３０名程度）
（オンラインを併用して開催）

■感染症対策　会場に対して余裕のある定員とし、席を離した形でセッティングをします。
また、換気等に配慮するとともに、来場時に検温（非接触型検温器）を行い、手指消毒及びマスクの使用（配布）を前提として実施します。

■内　容

＊講 演 1……（10：00～11：30）
「医療的ケア児支援法の成立と大阪府における支援センターの成立」（仮題）
講師：　位田　忍　氏　（大阪母子医療センター）

＊講 演 2……（11：30～12：15）
「大阪府地域ケアシステムの具体的展開」（仮題）
講師：　大阪府より　　（調整中）

＊講 演 3……（13：00～14：30）
「小児在宅支援のこれまでとこれから」（仮題）
講師：　望月　成隆　氏（大阪府医療的ケア児支援センター長）

＊パネルディスカッション…（14：30～16：30）
テーマ「医療的ケア児の支援のための連携強化と自立支援協議会の役割」（仮題）

○ コーディネーター：　船戸　正久　氏（大阪発達総合療育センター）
○ パネリスト：　潮谷　光人　氏（東大阪大学教授）
香西　摩矢子氏（大阪府医療的ケア児支援センター）
小西　奈月　氏（大阪医療的ケア児・者支援ネットワーク：ご家族）
○ コメンテーター：　位田　忍　氏（大阪母子医療センター）
望月　成隆　氏（大阪府医療的ケア児支援センター長）
高橋　英之　氏（大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課課長）

■申し込み・問い合せ先
大阪府重症心身障害児･者を支える会内 実行委員会
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5丁目15－28 育徳コミュニティーセンター２F
TEL.06-6624-2555 ／ **FAX.06-6624-2556**
メールアドレス **osaka@sasaeru.or.jp**

◎会場参加の方：（①～④）を記入の上、ＦＡＸ、郵送、メールで事務局へお申込ください。
※定員になり次第締め切りといたします。（様式問わず）
①件名（医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム ステージⅧ 参加申込書）、
②氏名・フリガナ、③〒・住所、電話・ＦＡＸ、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ、④職種・所属など

◎オンライン参加の方： ＱＲコードリンク先からgoogleフォームでお申込み下さい。

https://forms.gle/jJgNg2sHkPJrpmjt5

※コロナ感染症の対策からオンラインでのご参加をお願いする可能性がありますのでご容赦ください。

ありがとうございます

去る２０２３年６月１９日（月）、兵庫県神戸市、北六甲カントリー倶楽部にて大阪みおつくしライオンズクラブ様より、本会活動のために「はなみずき杯」チャリティゴルフコンペを開催してくださり、ご寄付を頂きました。

多くの方々の善意のこもったご寄付を賜り深く感謝致します。賜りました御寄付は、会活動の為に大切に使わせていただきます。

－ 書籍のご案内 －

本ご購入は、下のQRコード先、ブログ「ウムウェルトの知恵の輪」より、メールにてお求めください。
支える会ホームページにもリンクがあります。

重症心身障害の人たちへの介護入門
地域生活支援へのエール
〈ウムウェルトの知恵の輪〉

岸 本　　眞

重症心身障害児者の方々の暮らしを支援するみなさんへ
この本でお伝えしたいこと

～（抜粋文）　地域も職種も立場も越えて支援のチームがみんなで、組織や制度をじょうずに利用して手をつないで、心身に重い障害をもった人たちの命の安全や豊かな暮らしをもっともっと応援したいですねと、確かめ励まし合いたいですねと願って書きました。

私は理学療法士ですので、リハビリ職の仲間たちや後輩やまた養成校での授業をきっかけにしてこの領域で働くようになってくれた療法士の教え子たちにもぜひ読んでほしいのですが、何よりも重症心身障害児者の人たちの地域生活を支援してくれているお医者さんや看護師さんはもちろん、地域の暮らしの現場を支えてくれている介護職、福祉職の人にも、特別支援学校の先生がたにも、そして地域の福祉行政にかかわる人たちにも読んでもらえて、これからもずっとみなさんで同じ思いになって支援していけるきっかけになれば嬉しいと思っています。

重症心身障害児者の人たちへの介護は、ご家庭であれ、地域の通所であれ、入所の施設であれ、安全で安心できるそれぞれの場での介護や医療やリハビリや教育に求められる技能は、みなさんがご存じのように大変なことだと思います。だからこそどの支援の場のどの職種でも、同じようにその組織や施設の中での日々の研鑽が必要なんだと思いますし、そのためにたくさんの講習会や研修会、そして介護の本などがたくさん利用されてきています。そしてこんなふうな機会を通して多彩な支援サービスの「かたち」があちこちで提供されるようになってきたことをほんとに嬉しく思っています。

今回私は、それらのサービスの制度やサービスという「支援のかたち」を通して見えてくる素敵な場面の風景を、みなさんと共に見つめながら、でもつい忘れられがちになっているその風景が意味している大切なことについて、この本でご一緒に振り返りながら考えてみたいと思いました。　～